

## 2026年3月のガス料金について (小千谷地区)

2026年1月29日  
北陸ガス株式会社

北陸ガス株式会社は、2026年3月検針分に適用する従量料金単価を、別紙のとおり、2026年2月検針分に比べて、小千谷地区は1㎡あたり+1.13円(税込)調整させていただきます。

これは、2025年10月～2025年12月のLNG平均価格(貿易統計値)により算定された平均原料価格による原料費調整を行うものです。

また、電気・ガス料金負担軽減支援事業※の政府支援を踏まえ、原料費調整後の単価から1㎡あたり18円の値引きを行います。

※詳細は経済産業省資源エネルギー庁「電気・ガス料金支援サイト」をご覧ください。

(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp>)

標準的なご家庭(月間のガスご使用量が46㎡の場合)では、2026年2月適用料金と比べて1カ月あたり、52円(税込)の増額となります。

なお、2026年3月検針分に適用する料金につきましては、当社の本社および支社等の店頭での掲示や、検針時に各戸にお届けする「ガスご使用量等のお知らせ(検針票)」等で、あらかじめお知らせいたします。

以 上

＜お問い合わせ先＞  
北陸ガス株式会社  
企画グループ 坂井  
TEL 025-245-2214

## 料 金 表 (2026年3月)

- 一般ガス供給約款料金(各月のご使用量に応じてA・B・Cいずれかの料金表が適用されます)  
2026年2月に適用する従量料金単価と比較した場合、1m<sup>3</sup>あたり+1.13円(税込)調整させていただきます。なお、基準単位料金に対して、+13.19円(税込)調整して料金を算定いたします。  
なお、従量料金には電気・ガス料金負担軽減支援事業の政府支援を踏まえた1m<sup>3</sup>あたり18円の値引きが反映されています。また、基本料金は変わりません。

小千谷地区(43.9535メガジュール/m<sup>3</sup>)

(税込)

	月間使用量区分	基本料金	従量料金単価 (1m <sup>3</sup> につき)
料金表A	0m <sup>3</sup> ~23m <sup>3</sup> まで	629.20円	129.40円
料金表B	23m <sup>3</sup> 超~323m <sup>3</sup> まで	733.70円	124.86円
料金表C	323m <sup>3</sup> 超~	2,044.90円	120.80円

【ガス料金の計算式】

1カ月のガス料金 = 基本料金+ガス使用量×従量料金単価  
(上記計算の結果、1円未満の端数が生じた場合は端数を切り捨てます)

## 標 準 家 庭 に お け る 影 響

小千谷地区(43.9535メガジュール/m<sup>3</sup>の場合、税込)

ご使用量	2026年3月料金	2026年2月料金	増減額	増減率
46m <sup>3</sup>	6,477円	6,425円	+52円	+0.81%

※標準家庭のガスご使用量は、小千谷地区におけるご家庭1件・1カ月あたり平均(2016年度~2020年度の5年間平均)に基づいております。

## 平均原料価格と調整単位料金の算定について

	2025年10月~ 2025年12月原料価格	2025年9月~ 2025年11月原料価格	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	83,930円/t	82,650円/t	47,980円/t
平均原料価格	83,930円/t	82,650円/t	47,980円/t

■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}\text{平均原料価格} &= \text{LNG平均価格（2025年10月～2025年12月貿易統計値）} \times 1.0000 \\ &= 83,930\text{円/t} \times 1.0000 \\ &= 83,930.000\text{円/t} \\ &\quad \downarrow \text{（10円未満四捨五入）} \\ &= 83,930\text{円/t}\end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}\text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= 83,930\text{円/t} - 47,980\text{円/t} \\ &= 35,950\text{円/t} \\ &\quad \downarrow \text{（100円未満切捨て）} \\ &= 35,900\text{円/t}\end{aligned}$$

■調整額（1 m<sup>3</sup>あたり）の算定

<小千谷地区>

$$\begin{aligned}\text{調整額（値引き反映前）} &= \text{原料価格変動額} / 100\text{円} \times 0.079\text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \\ &= 35,900\text{円} / 100\text{円} \times 0.079\text{円} \times 1.10 \\ &= 31.19710\text{円/m}^3 \\ &\quad \downarrow \text{（小数点第3位以下の端数は切り捨て）} \\ &= 31.19\text{円/m}^3\end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を1 m<sup>3</sup>あたり0.08690円（0.079円に1.10（1+消費税率）を乗じた値）調整します。

$$\begin{aligned}\text{調整額（値引き反映後）} &= +31.19\text{円/m}^3 - 18.00\text{円/m}^3 \text{（政府支援による値引き）} \\ &= +13.19\text{円/m}^3\end{aligned}$$

上記計算の結果、

- 基準単位料金に対し、1 m<sup>3</sup>あたり+13.19円(税込)調整します。
- 2026年2月に適用する従量料金単価と比較した場合、1 m<sup>3</sup>あたり+1.13円(税込)調整させていただきます。